

課題4 → 課題4は、3分間で何文字タイピングできるか計測してみましょう。
単純計算では、今のレベルならば3分以内にすべて入力できますが、
次のステップ（課題4）への目安は、240文字以上です。

(261文字)

ジャイロボールとは、ボールの進行方向と回転軸が一致した投球のこと。アメリカ大リーグのボストン・レッドソックスに入団したピッチャー・松坂大輔が、これを投げることで知られている。名付け親はスポーツ科学者の手塚一志で、握り方によって4シームと2シームの2種類がある。通常の直球がバックspin回転で投げられるのに対して、ジャイロボールは弾丸のようにスパイラル回転。4シームの場合は空気抵抗が少ないので球速が落ちず、打者は「手元で伸びる」ように感じるといわれている。松坂の縦のスライダーがジャイロボールのような回転をすることがある。

「Yahoo!辞書」より抜粋

(274文字)

ミツバチの大群が巣箱から突然いなくなるという「蜂群崩壊症候群」（日本での別名「いないいない病」）が、米国やヨーロッパで報告されているが、この謎の現象は、ハチミツだけでなく、ミツバチによる受粉に頼った果物や作物の収穫に大きな影響を及ぼすと懸念されている。通常では毎年冬になると、ミツバチの集団はおよそ7つに1つが自然に、または病気などが原因で死滅するとされる。しかし、病気の場合でもハチの遺骸からその病気が特定されるのが普通とされているのに対し、所有しているミツバチの最高75%が消えてしまったという養蜂家のケースも報告されており、原因は不明である。

管理人編集

(264文字)

あの夜から4年。僕は再びW杯のピッチに立ち、今度はシメオネの挑発を無視しようとしていた。ボールに意識を集中して助走に入り、ゴールの中央右を狙って力一杯蹴った。アルゼンチンのGKカルロス・ロアは読みがはずれたのか、ほとんど動けなかった。僕はコーナーフラッグに走り寄り、ユニホームを引っ張って、雄たけびを上げた。4年間の怒りと痛みが、ふっと消えた。つらい日々だったことはまちがいない。だが今にして思えば、あの日々があったからこそ僕は強くなれた。サッカー選手として、そして人として。僕の人生は大きな山を越えた。もう大丈夫だ、と思った。

ニューズウィーク日本版 2008.7.2 「あのレッドカードが僕を強くした」より抜粋